



森林環境教育ネットワークメールマガジン 第189号 (平成 30 年 4 月 5 日)



(目 次)

- 1 <林野庁プレスリリースから>わたしの美しい森フォトコンテストの表彰について
- 2 <コラム> 森林環境教育の現場から(130)
- 3 <森林・林業白書から>竹林整備による地域の活性化に向けた取組
- 4 <樹をとりまくはなし>(10) 街路にリュウゼツラン
- 5 <イベント情報>
 - ◆和歌山県那智勝浦町色川地区で2泊3日の援農体験
「熊野の棚田 田畑の楽校(はたけのがっこう)2018」
 - ☆ 事務局から



森林環境教育ネットワーク <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>
 《バックナンバー<http://www.shinrinreku.jp/feenet/php4/mlbk/index.php>》
 《イベント情報の登録・閲覧 <http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>》
 一般社団法人全国森林レクリエーション協会 <http://www.shinrinreku.jp>



1 <林野庁プレスリリースから>わたしの美しい森フォトコンテストの表彰について

3月28日、都内にて「わたしの美しい森 フォトコンテスト」(主催:わたしの美しい森 フォトコンテスト実行委員会)の表彰式が開催され、受賞式が開催されるとともに、全入選作品の発表が行われました。

1.概要

(1)フォトコンテスト趣旨・概要

林野庁を含む「わたしの美しい森 フォトコンテスト」実行委員会は、森林・山村地域を多くの観光客が訪れ、地域への理解が進み、また、地域が活性化することなどを期待し、同フォトコンテストを開催することし、平成29年12月11日から平成30年2月13日の間、日本国内の森林や山村地域の魅力的な風景・場面を撮影した写真を募集しておりました。

その結果、北は北海道から南は沖縄まで、各地の森林や生き物の特徴や絶景を捉えた1,174点の応募がありました。

(2)審査について

平成30年3月6日(火曜日)、米美知子氏(写真家)、福田幸広氏(写真家)、沖修司(林野庁長官)及び実行委員会により構成される審査会において審査を行い、佳作以上の作品(12作品)を選定するとともに、各森林管理局長賞の候補を選定しました。その後、各森林管理局において、審査会にて選定された作品の中から、最終的に各森林管理局長賞を選定しました。

この結果、全部で19点の入選作品が選定されました。

(3) 表彰式について

平成30年3月28日(水曜日)、都内にて表彰式を開催し、上位入選者への賞状等の授与及び全入選作品の紹介が行われました。

入賞作品等の詳細は次のURLの林野庁ホームページをご覧ください。

URL: <http://www.rinya.maff.go.jp/j/press/kokusou/180329.html>

2 <コラム> 森林環境教育の現場から(130)

北海道名寄市で雪の中の「森のようちえん」をしてきました。森の中は雪が深く立ち入れませんが、クロスカントリーのコースは長靴でも大丈夫です。おそらく、普段の生活で、冬は寒くて雪が降ることは理解していますが、雪に包まれた森を見るのは初めて、いつも活動していたトンボ池が雪のお布団で包まれている景色に、子どもたちの目は点…「あっ足跡だ!」「そうだね、こちらは長い2つの足跡で、こちらは1本の線になっているね!」ここで、ウサギとキツネの歩き方の違いを見せたら、子どもたちの顔は笑顔に、寒さが吹き飛んだようです! 森には色々な生き物がくらしていることに気づき始めてきています!

(森林インストラクター 柳原 高文)

3 <森林・林業白書から> 竹林整備による地域の活性化に向けた取組

高知県南国市の「白木谷ゆめクラブ」は、それまで適切な管理が行われず荒廃していた竹林を整備して、タケノコの生産に取り組んでいる。

同団体は、モウソウチクに加えて、地域特産のシホウチクを栽培しており、これらを道の駅等で販売している。また、タケノコを乾燥させて加工したものを、契約を結んでいる飲食チェーン店へ販売するなど、販路の拡大にも取り組んでいる。さらに、竹粉碎機械(チッパー)等を活用して、伐採した竹を竹チップや竹パウダー等に加工し、土壌改良材として販売しており、タケノコ以外の竹資源の有効活用にも取り組んでいる。これらの取組により、竹林が整備されるだけでなく、地域の特産品や雇用が創出されており、地域経済の活性化につながっている。

(平成28年度森林・林業白書 事例から)

4 <樹をとりまくはなし>(10) 街路にリュウゼツラン

シェフレラとかサボテンなど家で育てられなくなった植物を街路樹の下に植える人がいるのですが、先日堂々のリュウゼツラン(アオリュウゼツラン)を見ました。かなりの大きさです。鉢植えを持って余して…というレベルではなく、初めからここに植えようと街路に植えたのでしょうか。こういうの、ゲリラ植栽って言うんですかね。割と都会ならではの

のことで、田舎では「都会ってすごいね」と驚かれます。メキシコ原産のリウゼツランは 100 年に 1 回花が咲くと誤解されていましたが、実際は数十年で花が咲きます。花が咲いたときはテレビなどで取り上げられ、その都度ブームが来ます。庭に植えている人もいて、その存在感は見る人を怖がらせ防犯に役立つかもしれません。リウゼツランの仲間は花軸の部分に糖をたくわえるようで、アガベシロップとして利用されます。テキアリウゼツラン等からテキーラが作られます。「この花が咲いたら、花の茎をサトウキビみたいにかじってみたい」と花より団子で眺めています。

* ある種のリウゼツランはかぶれるという情報もあります。

(森林インストラクター・樹木医 岩谷 美苗)

5 <イベント情報>

◆和歌山県那智勝浦町色川地区で 2 泊 3 日の援農体験
「熊野の棚田 田畑の楽校(はたけのがっこう)2018」

◆和歌山県那智勝浦町色川地区で 2 泊 3 日の援農体験
「熊野の棚田 田畑の楽校(はたけのがっこう)2018」

和歌山県那智勝浦町色川地区は、世界遺産でもある日本一落差の長い滝「那智の滝」の西側に位置する自然に恵まれた集落です。かつて 3,000 人あった色川の人口は、現在約 370 人。しかし、40 年前から有機農業をめざす若い家族がポツリポツリと色川に住み始め、今や人口の約 4 割が新規定住者という全国でもめずらしい地域です。

「農業」「田舎暮らし」という言葉がちょっと気になる…という方、両親とも都会育ちで「ふるさと」がほしい…という方。「田畑の楽校」で色川を訪れてみるところから始めてみませんか？田植え、草とり、稲刈りなど棚田でのお米づくり体験ができる 2 泊 3 日のツアーです。ふるってご参加ください！

◎詳細・お申し込みは当団体「イベント・ボランティア情報」をご覧ください。

<http://blog.canpan.info/juon/archive/447>

【各回開催日および主な内容】 ※内容は変更になることがあります。

- A. 5 月 18 日(金)～20 日(日) 田植え・(牛耕体験:予定)
- B. 6 月 29 日(金)～7 月 1 日(日) 草とり・(流し素麺:予定)
- C. 9 月 15 日(土)～17 日(月・祝) 稲刈り・(ナイトツアー:予定)
- D. 11 月 16 日(金)～18 日(日) しめ縄作り・(餅つき:予定)

【内 容】 色川の取り組み視察(初参加の方)・農作業体験・地元の方との交流

【と ころ】 和歌山県東牟婁郡那智勝浦町色川地区

【参加費】 会員・学生: 4,000 円／一般: 6,000 円(各回。食事代、資料代等)

【定 員】 各回 6 名(自家用車でお越しの方を除く)

【締 切】 各回開催初日 1 週間前の金曜日まで ※締切日過ぎてのお申し込みはご相談下さい。

【主 催】 棚田を守ろう会(<http://www.zb.ztv.ne.jp/tanada/>)

認定特定非営利活動法人 JUON NETWORK(樹恩ネットワーク)

【問合せ・申込み先】

認定特定非営利活動法人 JUON NETWORK(樹恩ネットワーク)
〒166-8532 東京都杉並区和田 3-30-22 大学生協杉並会館内
Tel: 03-5307-1102
Fax: 03-5307-1091
E-mail: juon-office@univcoop.or.jp

※本ネットワークの「イベント情報」(<http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>)にご登録
いただいたイベントや事務局にご連絡いただいた情報等の中から紹介します。

=====

☆ 事務局から

=====

5月31日(木)午後、東京都文京区の文京区民センターにおいて、当協会主催による
フォーラム「森林レクリエーション資源を活用した新たな山村と都市との交流」を開催し
ます。宮林茂幸東京農業大学教授をコーディネーターに内田有映氏(アソビュー(株))、
木村正臣氏(野反湖うらやまガイド)、坂崎絢子氏(滝ガール)、千葉達雄氏((株)ソトエ
代表取締役プロデューサー)、外山京太郎氏(群馬県川場村村長)を招き、森林レクリ
エーションの新たな展開と山村と都市との交流の事例紹介とパネルディスカッションを
行います。

詳細は、次号のメルマガと後日、当協会ホームページ等でご紹介いたします。(K)

~~~~~

☆☆☆ご投稿等は E-mail: [feenet\\_info@shinrinreku.jp](mailto:feenet_info@shinrinreku.jp) までお寄せください。

[編集発行]

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F  
一般社団法人 全国森林レクリエーション協会 森林環境教育ネットワーク事務局  
TEL: 03-5840-7471 FAX: 03-5840-7472 E-mail: [feenet\\_info@shinrinreku.jp](mailto:feenet_info@shinrinreku.jp)  
URL: <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

~~~~~

